



# クローバーニュース CLOVER NEWS



2024・2月号

袋井市高尾740番地

TEL 42-2185



## ありがとう集会(2月7日) 感謝

お世話になっている地域の方々をお招きして、「ありがとう集会」を開催しました。

今年度は、全校児童が体育館に集合して実施することができました。登下校のボランティア、バス見守りボランティア、読み聞かせボランティア、スクールガードリーダー等の皆様の日頃の御支援に対し、感謝の気持ちをお伝えする機会となりました。



## 6年生を送る会(2月22日)



これまでリーダーとして袋井南小を支えてくれた6年生への感謝の気持ちと中学生に向けてエールを込めて5年生が中心となって、「6年生を送る会」を行いました。

1部では縦割り教室で弁当を食べ、6年生に心を込めて作ったメダルと寄せ書きをプレゼントしました。



2部では、全校児童が体育館に集まり、6年生へエールを送りました。6年生からは素敵な歌とメッセージのプレゼントがあり、温かい「6年生を送る会」となりました。



## はばたき活動(6年生)

6年間過ごした学校への感謝の気持ちを込めて、校舎内外の清掃活動を行いました。日頃じっくり掃除が行き届かないところまでぴかぴかになりました。6年生、ありがとう！！



## 南の丘学園 一貫教育コーナー



1年生の生活科「もうすぐ2年生」の学習で年長の園児を招待しました。1年生が「勉強のこと」「教室のこと」「園とちがうところ」など園児に優しく伝えたり、一緒にドッジボールをして楽しんだりしました。



## 魚ギョギョ！ミュージアムキャラバン

ふじのくに地球環境史ミュージアム主催の「ミュージアムキャラバン」が図工室で実施されました。テーマは「魚の世界」。川魚から駿河湾の深海ザメまで、静岡県で見られる様々な魚の標本が展示され、児童は目を輝かせていました。



◆ホームページで、学校生活の様子を紹介しています！

袋井南小 校舎



# 学校教育活動アンケート(後期)の結果について

2学期末に実施した「袋井南小学校教育活動アンケート」への御協力、御意見ありがとうございました。調査結果をまとめましたので報告いたします。なお、この結果については全職員で共有しました。よりよい南小学校を目指して今後の教育活動に活かしていきます。

※肯定的…「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率、最上位…「そう思う」のみの回答率

※色付き項目の数値は1年前より上がっていた項目

No	調査項目	対象	R4後期 肯定的%	R5後期 肯定的%	No	調査項目	対象	R4後期 肯定的%	R5後期 肯定的%
1	学校が楽しい	児童	94	95	12	授業開始時刻に席につく	児童	88	90
		保護者	94	93	13	はきものを整頓する	児童	90	93
2	みんなと何かをするのが楽しい	児童	95	97	14	命の大切さを分かっている	児童	98	99
3	授業がよく分かる	児童	91	93			保護者	98	96
4	授業に主体的に(進んで)取り組む	児童	90	94	15	交通ルールを守る	児童	98	99
5	(新)自分にはよいところがあると思う	児童		89			保護者	97	98
6	自分の気持ちを言葉で伝える	児童	86	88	16	「自分から」運動に取り組む	児童	90	85
		保護者	75	81	17	家で宿題や自主学習に進んで取り組む	児童	90	89
7	進んで読書に取り組む	児童	82	86	18	親子で将来のことについて話す	児童	69	70
8	当番や係(委員会)の仕事に責任を持って取り組む	児童	93	96			保護者	90	88
9	気持ちのよいあいさつや返事をする	児童	86	88	19	テレビやゲームの時間などのルールを決めている	児童	80	79
		保護者	77	83			保護者	76	81
10	学校をきれいにする	児童	93	96	20	学校に信頼できる先生がいる	児童	90	93
11	時と場に応じて「です」「ます」で話す	児童	88	92			保護者	91	91
		保護者	77	80	21	子どもの個性を認め、日頃から会話している	保護者	97	98
					22	袋井南小が進めている教育を理解している	保護者	80	81

## 【アンケート結果より】

### <充実した令和5年度>

1年前の同時期に行ったアンケート結果と比較すると、多くの項目で肯定的な回答率が上がり(色付き項目の数値)、**子供たちの充実度**がうかがえます。保護者の数値からも、お子様の姿から成長を感じていただけたことが分かります。



### <4つの承認>

本年度の No.5「自分にはよいところがあると思う」を前期後期で比べてみると 13%下がってしまいました。

最上位回答率(R5 前期)67%⇒(R5 後期)54%

2学期は行事も多く、成長した姿を披露したり、実感したりする機会が多い学期です。それに対して自信をもつことができなかつた表れなのかもしれません。自信につなげるためには周囲からの声掛けが重要な鍵となると考えます。「できた」「できなかった」という結果に対しての声掛けだけではなく、「過程」や「意欲」に対して、それらを認める声掛けです。

南の丘学園では学園教育目標を達成するための手立てとして **4つの承認**を推進しています。4つとは「存在」「意欲」「行動」「成果」です。今回の結果から、来年度に向けて、承認する場面を意図的に増やしたり、子供たちに伝わるような言葉掛けができる工夫を考えています。今まで以上に子供たちに任せる場面を増やし、「意欲」「行動」「結果」につなげたり、教員の人権研修を進めたりすることで、子供たちが自信をもって「自分にはよいところがある」と答えられるように励ましていきます。

保護者の皆様からは袋井南小学校をよりよくするための御意見を多くいただき、ありがとうございました。多くの励ましのお言葉もいただき大変ありがたく思います。大切な御意見として今後の教育活動の充実に向けて参考にし、改善できるところから進めていきます。これからも、本校教育活動への御理解・御協力をお願いいたします。

### <「自分から」学ぶ授業に>

No.4「授業に主体的に取り組む」に注目です!

肯定的回答率(R4)90%⇒(R5)94% +4%

最上位回答率(R4)49%⇒(R5)61% +12%

このように最上位回答率の伸びが高く、授業でより自分から学んでいる姿が顕著に表れています。本校では今年度、授業の中で子供たちの疑問や言葉を大切に、特に課題提示に力を入れ、授業改善に努めてきました。日常的に教師同士が授業を観合うことでさらに授業改善が進み、子供たちの「自分から」学びにつながっていると感じています。

### <家庭でも「自分から」に>

授業への主体的な学びが大幅に伸びた一報で No.17「家で宿題や自主学習に進んで取り組む」の質問では、肯定的回答率が伸び悩んでいます。家庭でも課題意識をもって「自分から」学べるようにしていく必要があると感じます。変化が激しく、予測不能なこれからの社会で必要とされているのは、自分で課題を見つけ、どうすれば解決できるのか考え、探究し、解決する力です。学校での学びも家庭での学びも「自分から」が鍵となります。今後も各家庭での見守りをお願いいたします。

